



無を育む建築

-快眠で見つける私の居場所

01 背景—現代人のデジタル疲れ

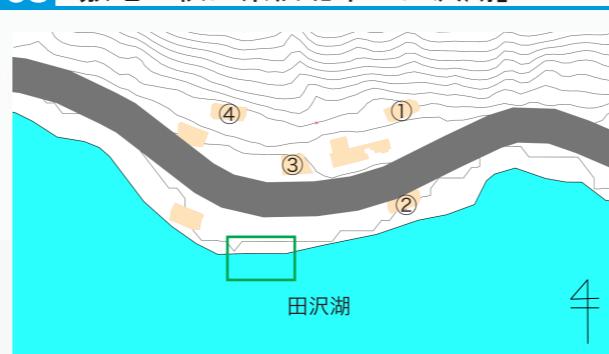
私たちの身の回りには、**デジタル技術**で溢れている。そしてテレビやコンピューターを始め、スマートフォンやAIなどは生活に欠かせない存在となっている。これらは日々の生活を便利で豊かにする一方で、膨大な情報量による**脳の疲れ**や**睡眠の妨げ**になっている。さらに、現代社会において**孤独感**や**社会的孤立**が問題になっている。この建物では**デジタルデトックス**を行い、心を休ませる体験を通して自分を見つめ、相手の良さを再確認することを提案する。

02 コンセプト

デジタルや時間に縛られず、好きな時に好きな場所で眠る

- 敷地周辺の建物
 - ①御座石神社
 - ②御座石神社 烏居
 - ③あさり商店(地元特産品販売所)
 - ④公衆トイレ

03 敷地—秋田県仙北市「田沢湖」



敷地南側には秋田県の観光名所である田沢湖が面している。北側は森林で覆われており、自然豊かな土地である。本計画では、敷地北側にある駐車場を近くの商店と共に利用する。

05 断面計画

気分で自分の居場所を選び、好きなように過ごす

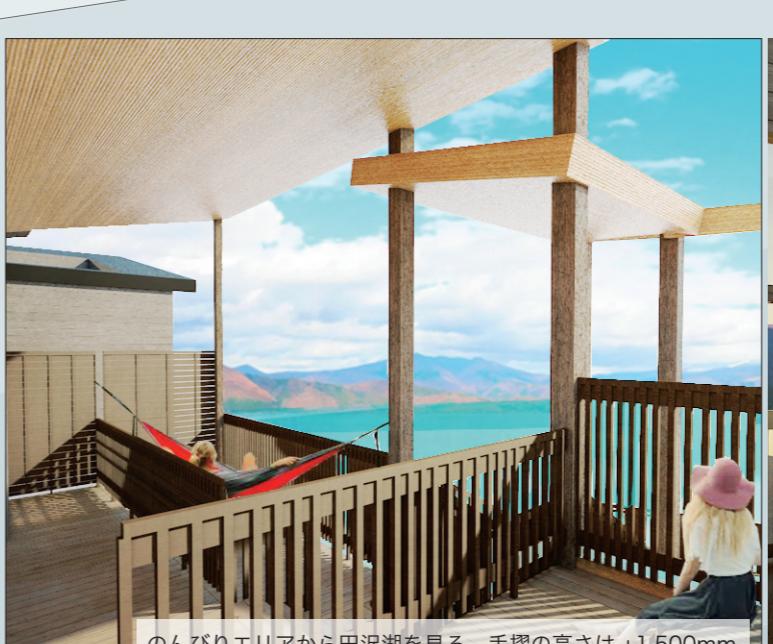
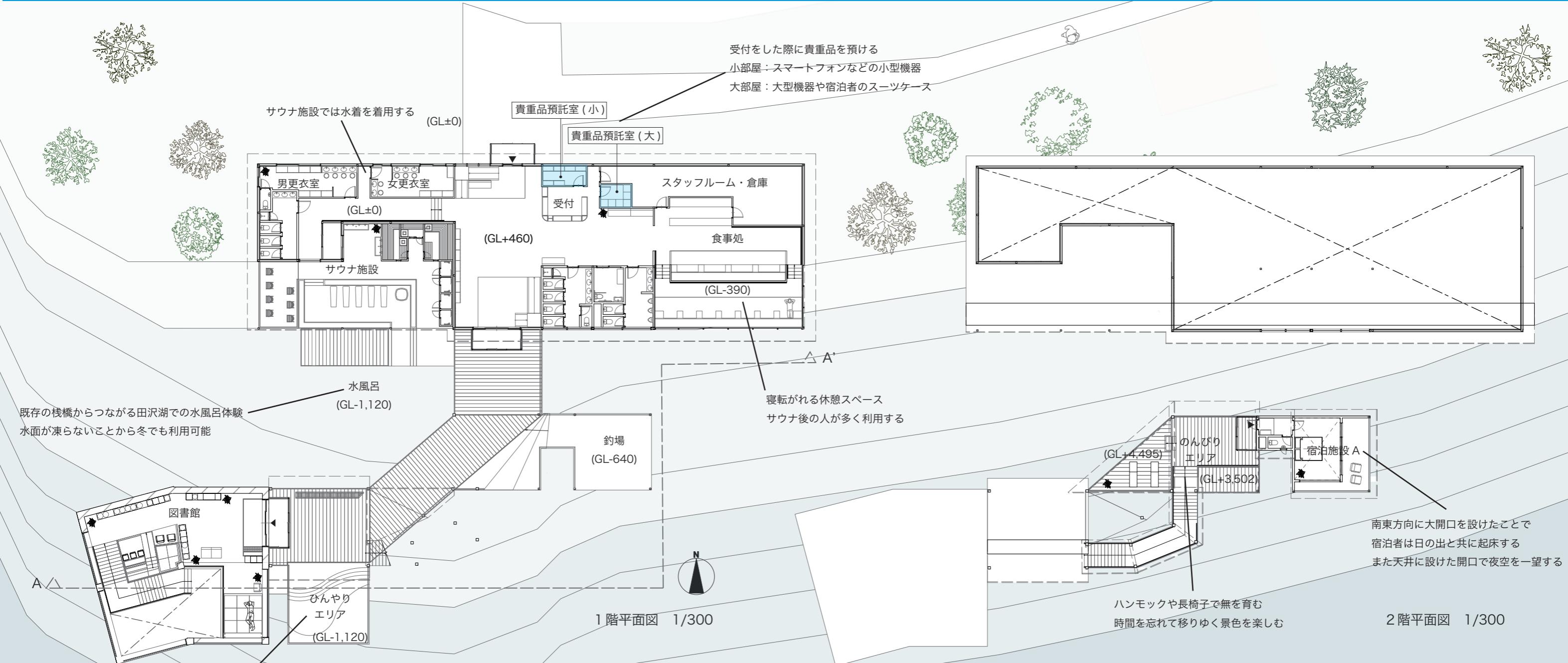


04 手法一高さの違いが居場所をつくる

確実にデジタルデトックスを行うために、施設内では**デジタル機器の持ち込みを禁止**する仕組みとした。そして田沢湖や既存の桟橋をはじめとする、周辺環境を存分に味わう。特に、田沢湖の水面に対する建物配置を考慮することで、**景色の移り変わり**を楽しむ。また、場所ごとで快眠までの体験を変化させることで寝室に留まらずに**多様な居場所**を創出する。



06 平面計画



床の一部が真空ガラスになっている
日本最深の湖を見つめて無を育む

- 1階平面図 1/300

置やソファだけでなく段差のついた本棚にも座ることができる

のんびりエリアから田沢湖を見る。手摺の高さは+1,500mm

宿泊施設Aは朝日を一番に浴びれる。